

# 緑のボランティア通信

2019.10.1 No.62

## 秋の協会イベント紹介

### “学びの秋”にピッタリな 講演&体験をご紹介します！

#### 講演

両講演・交流会ともに参加費無料・申し込み不要です

○開催日：10月30日(水) 14時～ 川崎市高津市民館にて

#### 『コンテナガーデニングではじめる植物のある豊かな暮らし』

講師：山口 吾子氏 (ことみどり代表)

コンテナガーデニングの基本から、植物を育てることで広がる花とみどりがもたらす豊かな暮らしの楽しみ方のヒントなどについてお話していただきます。

「令和元年度交流事業 花壇編」(12時～15時30分) パネル展示、花苗抽選会等



○開催日：11月16日(土) 講演①11時30分～ 講演②13時45分～ 川崎市総合自治会館(中原区)にて

#### ①『地層で知るかわさき・里山～川崎の地形の成り立ち～』

講師：船山 淳氏 (環境地質研究部会長)

#### ②『豊かな緑は山を守る?～崖の保全と緑について～』

講師：稲垣 秀輝氏 (日本応用地質学会理事)

川崎にはたくさんの緑地や山がありますが、目にすることができるのはその表面だけです。では、その「表面の下」=地下はどうなっているのでしょうか?川崎にある里山の“地層”に焦点を当てた講演です。

「令和元年度交流事業 里山編」(11時～15時) パネル展示、団体交流等



#### 体験

各イベントの詳細は各区役所等で配布中のチラシもしくは当協会HPをご覧ください

### ◆かわさきの森づくり(里山ボランティア育成講座)

実践編

(各回ともに9時30分～12時00分 小雨決行 参加費無料)

	日時	会場	内容
第11回	10月19日(土)	王禅寺日吉の辻特別緑地(麻生区)	竹林整備
第12回	11月9日(土)	井田山特別緑地(中原区)	シュロ・ヤツデの除伐
第13回	12月15日(日)	久末箒場谷特別緑地(高津区)	竹林整備
第14回	令和2年1月19日(日)	岡上梨子ノ木特別緑地(麻生区)	コナラの間伐



講義編

(12時30分～15時30分)

	令和2年1月19日(日)	麻生市民館岡上分館(麻生区)	「緑の基本計画」、里山の自然、救急法、道具の使い方、ボランティアの心得等
--	--------------	----------------	--------------------------------------

●対象：15歳以上の関心のある市民、各回40人程度

●申込方法：はがきに〒、住所、氏名、年齢、電話番号、メールアドレス、希望日を明記し、公園緑地協会「かわさきの森づくり」係宛に送付ください。実施日の前月1日から実施3日前まで先着順で受付ます。現地案内、雨天対応等、詳細は申込者に通知します。



かわさき緑のイメージキャラクター  
緑の妖精 グリンピー

#### 目次

秋の協会イベント紹介	1
開催報告/協会ニュース	2
活動団体訪問・自己紹介コーナー	3
flowerbed	4

# 開催報告

## ◆ セミのぬけがら調査報告！

当協会は川崎市の生物多様性や、環境の変化を探る貴重なデータとして、等々力緑地内を主にセミのぬけがら調査を行っています。今年は「こども黄緑クラブ夏編」と「チャレボラ（チャレンジボランティア）2019～汗して守るかわさきの緑」を開催して、ぬけがら調査を行いました。

ぬけがらを集め、種類ごとに分類した小学1年生から中学1年生までの子どもと、保護者の方延114名の参加者の協力で、今年も大成功に終わりましたので開催中の様子とともにご紹介します。

### ○こども黄緑クラブ夏編（全3回）

毎回ぬけがら調査を行いながら「羽化観察会」や、「ぬけがら標本」作りも行いました



ぬけがら標本



### ○チャレボラ2019 汗して守るかわさきの緑（2回）

※「チャレボラ」の詳細については川崎市社会福祉協議会HP (<http://www.csw-kawasaki.or.jp>) をご覧ください

今年の調査結果は次のとおりです。

場所	ツクツクボウシ	ミンミンゼミ	ニイニゼミ	アブラゼミ	ヒグラシ	合計
等々力緑地内 ふるさとの森	58	222	752	4,051	0	5,083

今年、当協会と「かわさき宙と緑の科学館（生田緑地）」は、現在の川崎市におけるセミの分布について記録するため、等々力で行った調査方法で各区の公園や緑地を調査しました。

調査は当協会に日頃協力頂いているボランティア団体の活動場所で行い、集めたぬけがらは科学館で標本となって長年にわたり保存されます。

### ご協力いただいた調査場所

- ①浮島町公園（川崎区） ②夢見ヶ崎公園（幸区） ③井田山緑地（中原区） ④春日台公園（高津区）
- ⑤菅生緑地（宮前区） ⑥東生田緑地（多摩区） ⑦黒川谷ツ公園（麻生区） ⑧麻生鳥のさえずり公園（麻生区）

# 協会ニュース

## ◆ たねダンゴ実践講座の花と、冬編お手入れワークショップについて

「たねダンゴ実践講座夏編」の花壇が今年もきれいに咲きました。

コスモスやジニア（百日草）等の草花が次々と咲き、猛暑にも負けず等々力緑地を彩ってくれました。

興味のある方は、たねダンゴ実践講座冬編「お手入れワークショップ」に参加できますので、ご連絡ください。



コスモス



ジニア（百日草）



### お手入れワークショップ開催日

11月6日（水）・翌年3月18日（水）・4月22日（水）（各回10時～12時）

### 田町2・3丁目町内会 (2001年登録)



**活動場所** 京急大師線「小島新田駅」前、小島新田公園（川崎市田町3丁目11-1）  
**交通案内** 京急大師線「小島新田駅」下車（公園までは徒歩4分）

私たちの活動場所は、朝夕に多くの通勤者で混雑する京急大師線の終点、小島新田駅でタクシー乗り場もあります。

殺風景な小さな駅前ですが、通る人が少しでも心が和むよう「花で飾れたらなあ」との思いで、町会長にお願いをして、プランターと壁掛けハンギングバスケットを買い、花苗を植栽したのが活動の始まりです。

以前は線路に沿って田町緑道があり、みんなで花や木を植え、時には黄色コスモスがいっぱい咲くきれいな緑道でしたが、京急の工事で撤去となってしまいました。

その後は陸橋を渡った三丁目の小島新田公園に花壇を作ることになりました。コチコチの土を耕し、石を取り除き、新しい土を入れ続け花壇を少しずつ広げてきました。



主な活動は土曜・日曜日に行いますが、平日は70～80代の女性が率先して手入れをしています。駅前のプランター等は毎日、朝夕に水やりに通ってくれています。



暑い日の水やり、草取り、花がら取りも大変ですが、気の合った仲間との共同作業を、おしゃべりしながら楽しくやっています。通りがかりの人が「あなた達のおかげでお花がきれいに咲いていますネ！」と声をかけてくれたり、保育園の子どもたちがお散歩に来て「いろんなお花の色できれいだネ！」と言ってくれたりすると私達も嬉しくなります。年々歳を重ねますが体力の続く限り、この活動を楽しみながら頑張っています。（木村 早苗）



### NPO法人がわさき自然と共生の会 (2004年設立)



**活動場所** 岡上梨子ノ木特別緑地保全地区（川崎市麻生区岡上梨子ノ木地内）  
**交通案内** 小田急線「鶴川駅」下車 徒歩20分

当会は2004年に特別緑地保全地区として1.6ヘクタールが整備され始めました。翌05年3月に第1回の定例保全活動が始まり、4月には機関紙「ともいき」の第1号を発行しました。

06年3月と07年3月にクヌギ・コナラ計890本を植樹しました。同年4月、市との間で「岡上梨子ノ木特別緑地保全地区保管理計画書」を作成し、また同年11月にはヤマユリの植栽も手掛けました。

月例の活動では、広場のイス・テーブル、手造りの舞台等も設置。また、緑地の斜め向かいの休眠農地を借りて整備し、仮設水道や簡易水洗トイレのあるオーガニック栽培農園を保持するに至りました。収穫した野菜根菜の食事宴会を春夏秋冬と開催するなど、活動の勢いは止まることを知らず、市や国からも表彰されて賑やかなものでした。それは、会員の各々が持つ体験を背景に、発想と技量が次々と発揮された成果でした。



月例活動日と機関紙の毎月発行は休むことなく続けて、その100号記念号（2014年6月発行）を見ると、創立前後のご苦労を知る方々の顔が少なくなったと気づきます。10年経つとはこういうことかと頷くしかありません。

保全作業にと購入した道具の中で、刈った草葉や枯枝の処理用粉砕機チッパーの働きには目を見張るものがありました。

緑地から出る植物残渣はゴミや屑ではなく、再資源化して緑地内ばかりか有機栽培する圃場でも必須の資源となっています。写真は当会の大倉正直氏が撮影したものです。今後とも循環型の緑地保全として息長く継続していくつもりです。（高橋 透）



Autumn

いつも見慣れている公園の花壇、そんな花壇の花を紹介します。

ワンポイント

「こぼれ種」について

植えていた草花の種が落ちて、意図せず芽が出ることを「こぼれ種」と言い、  
 ピオラ・ノースポール・アリッサム等でよく見られます。  
 こぼれ種は、花の種類にもよりますが、開花期が終わった花をそのまま放置しておけば種が自然とこぼれ発芽しますが、こぼれ種が育ち花が付くと花壇のデザインが変わってしまいます。  
 こぼれ種を望まないのであれば、花がら摘みも大事ですが、植える花を選ぶ時から考慮に入れましょう。  
 もちろん、こぼれ種を育てるのも花の楽しみの一つです。その際は雑草と間違えて芽を抜かないように  
 きをつけましょう。ただ、親花と同じ花が咲くとは限らないので注意してください。



No.13 ハボタン \* 多年草

\* 観賞期 12月～3月  
 \* 花言葉 祝福



ハボタンはお正月のイメージが強いですが、年が明けてからも購入される花苗です。丸葉やちりめん葉、ノコギリ葉などがあります。他にも色々な種類が改良されています。

ハボタンの良いところは比較的、土を選ばないことだと思います。地植えでハボタンを生産すると幅25cmくらいになりポットで育てたミニハボタンだと、幅5cmくらいのかわいいものまであります。年越しをして育てて大きくすると高さが1m以上になることも！

クネクネしているので、踊りハボタンと呼ばれています。



No.14 ナノハナ \* 一年草

\* 開花期 4月～5月  
 \* 花言葉 小さな幸せ

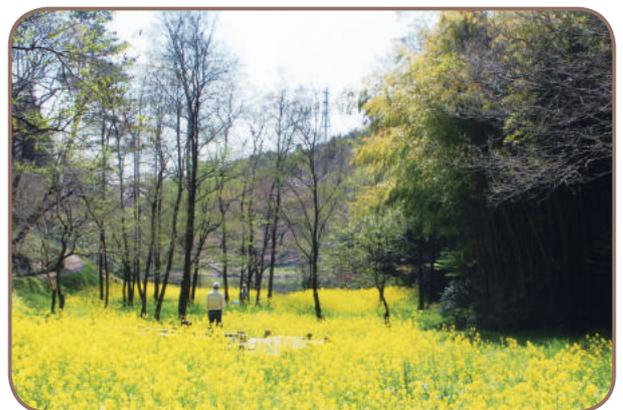


春の訪れを感じさせる菜の花。

おひたしや天ぷらで良く食べられると思います。

ポット物で市場に出回ることありますが、種（9月～10月）をまいても良いでしょう。

日当たりの良いところで栽培し、寒さにも強いです。寒さにあたることによって花付が良くなります。



せんじゅえん (株) 泉樹園、手塚賀久

公共の花壇を対象に誰もが知っているポピュラーな花を再認識いただくコーナーです。  
 このコーナーのご意見、ご要望をお寄せください。参考にさせていただきます。

発行・編集

(公財)川崎市公園緑地協会 緑の推進支援課

〒211-0052 川崎市中原区等々力 3-12  
 電話 044(711)6631 FAX 044(722)8410  
<http://www.kawasaki-green.or.jp>